序

世に小太刀の書あまた有ども
角(すみ)な称(しょう)なきもの多し
此度角うちのものに
秘伝(ひでん)書(しょ)図解(ずかい)をなし
尚(なお)又(また)元(もと)之(の)版(はん)摸(も)刻(こく)
尝(つね)場(ば)といえども
おもてうつしなんぞ加(くわ)ふる
所(ところ)小味(こあじ)及(および)ず

や尚通そうん者ども書を懇ろ
せそうんい有る事を願ふ次第也

于時享保十二未七月吉日

文照軒 一志

大工雛形 秘傳書圖解

大

壱 平角大かた称写

弐 矩角大かた称写

三 角木かんさう称

四 井筒枡角木高掛

八 本中大中さみ仕組

六 外ゞ指つぼ組

七 男子んぐる指の数

八 角いろまつげ

九 切裏甲本向ふ角松葉かた称

十 ふた角松葉かた称

十一 ふた角こ抜いた物

十二 角指う称をた抜

十三 ふたのこ本口ふたり

十四 二形角本造松同茅負ろまつ

十五 二形ふた形茅負ろ者比

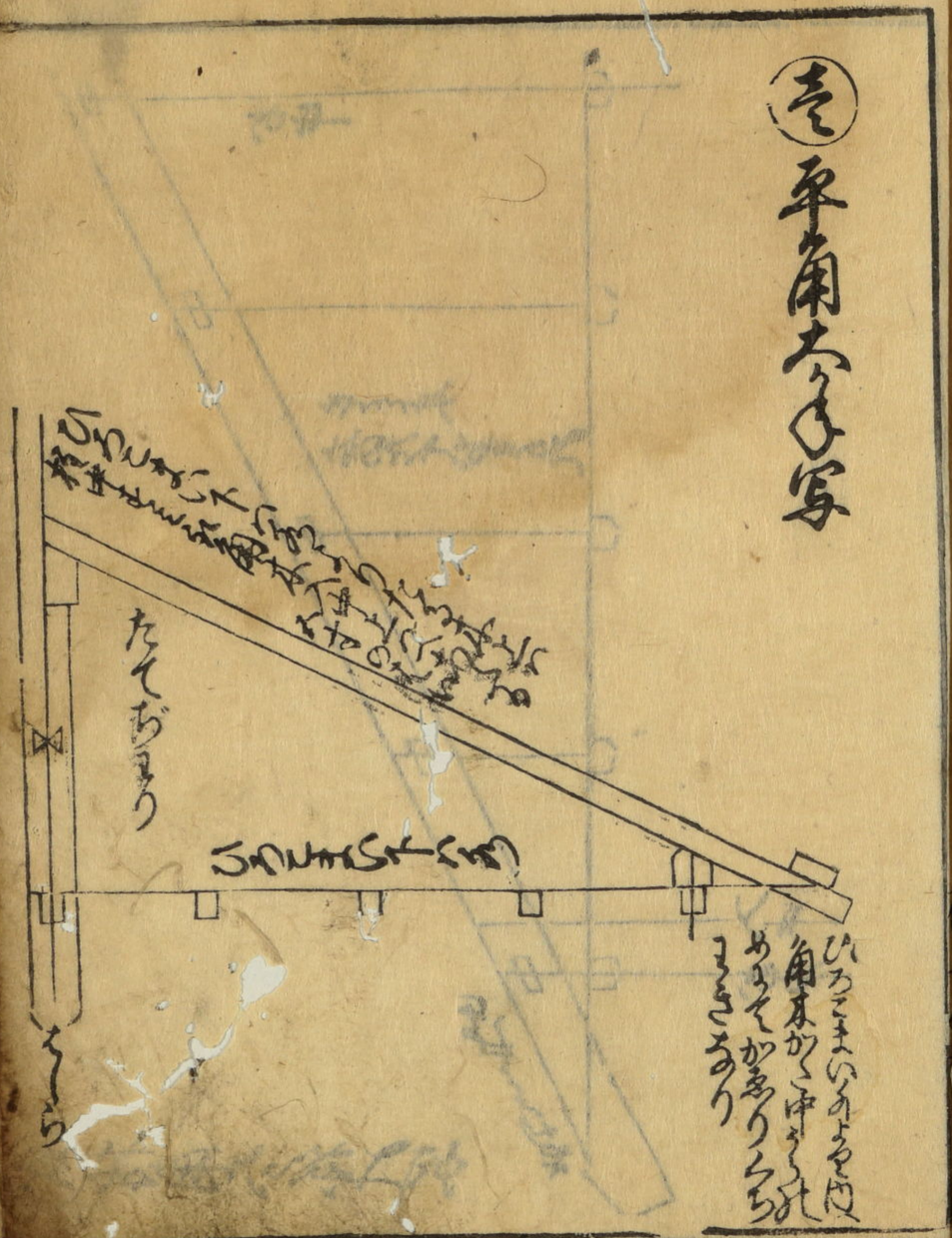
廿 扇たる本あもこ仕松

廿一 扇たる本かあもこふ者比

廿二 六角まみ指たる本

廿三 六角まみ扇たる本

廿四 まかる破風称



七 平角之写

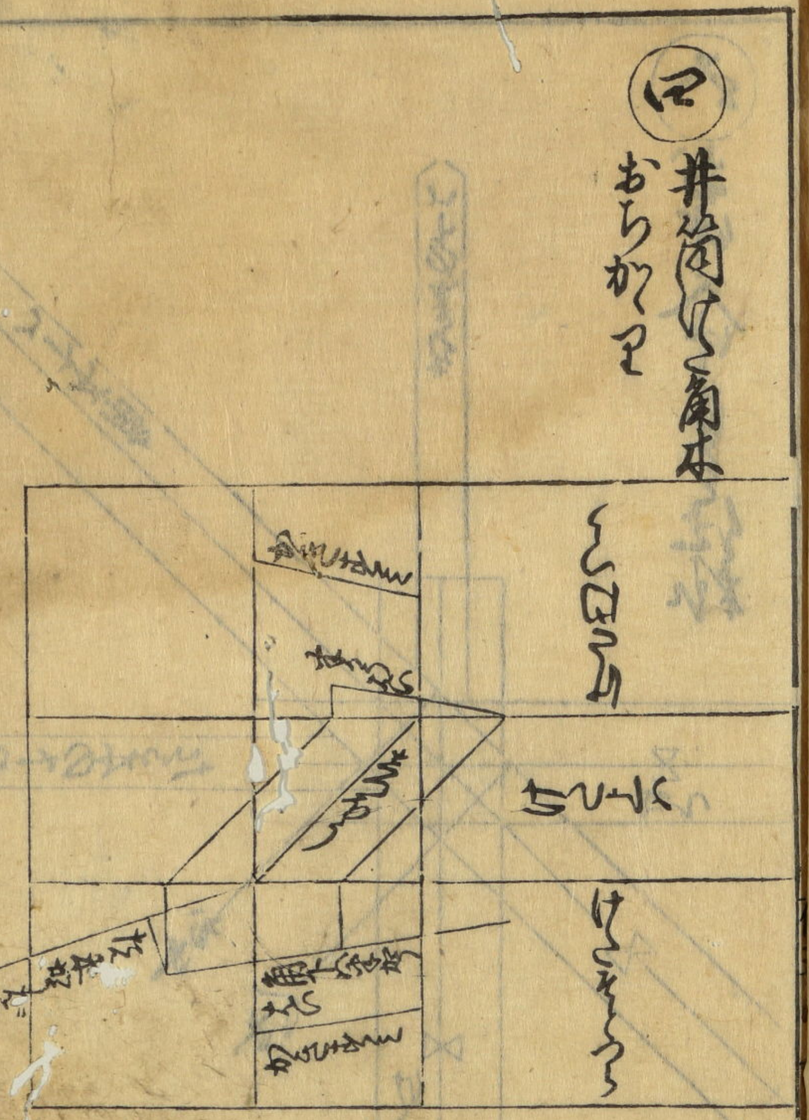
ひろさまいのよを間
角木かく中さらに
ゆるそかあり
ここさるのり

③ 角本がんぎう称

指角の事

一ぐうすい大小矩角本かくの中すいそくの
めやすをくらべさせ仕のさおいに仕のくちのめ仕者中
そまをもとたる本まようその目みそこふかりをもある本下ハ
もうらのめよりて要こうし角本一大の線まそたる本
あるをかすみ仕ひ角本下ハたる本下ハ或なせいたる本
下ハ一なとせいそなとうりてまそしてあごまいとろて
まい外こ面いせいそうくもそのさまり角本下ハ
長さ一をうしごうくし八中ハお中より角本下ハ
内へかまりをうさ仕ハ仕者なく

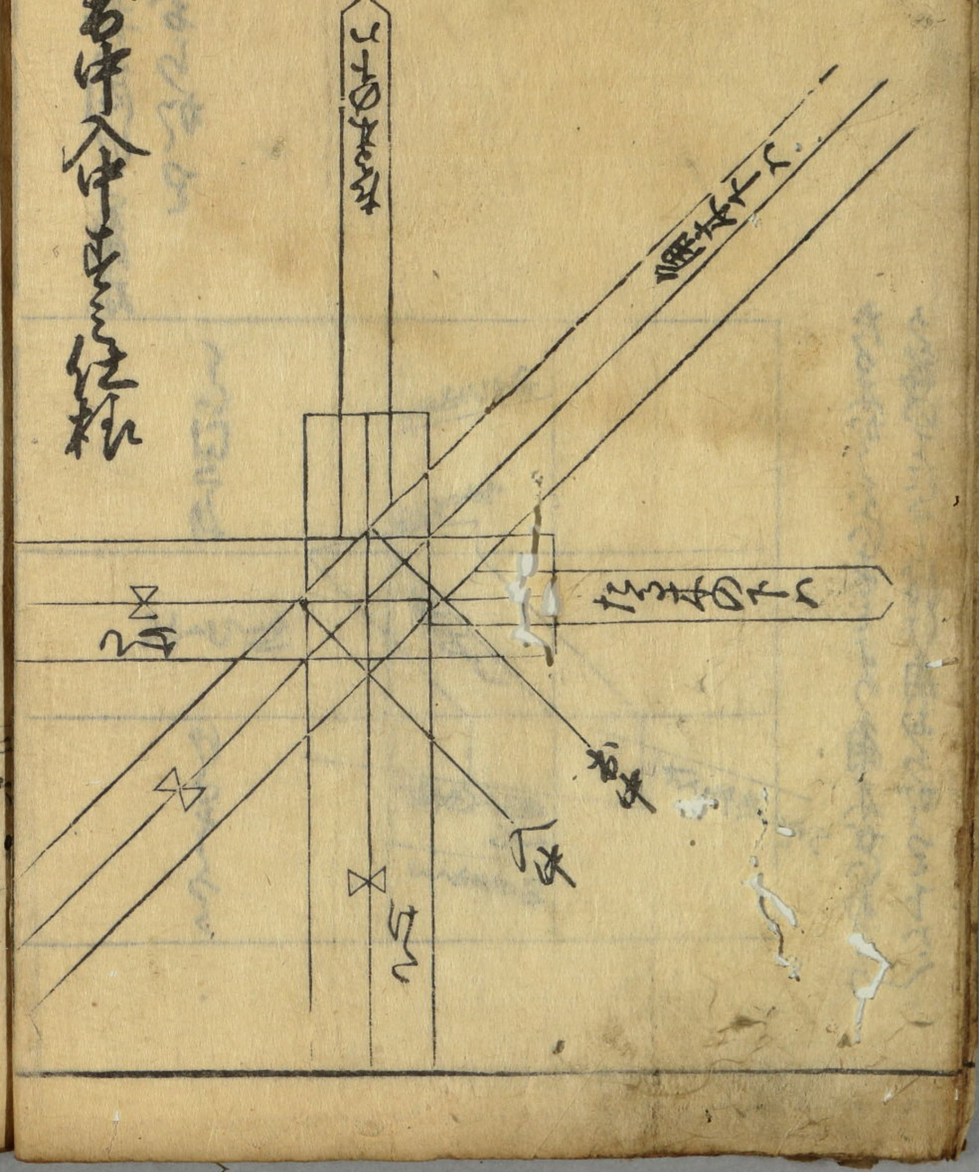
(四) 井筒けこ角本
おちかくを



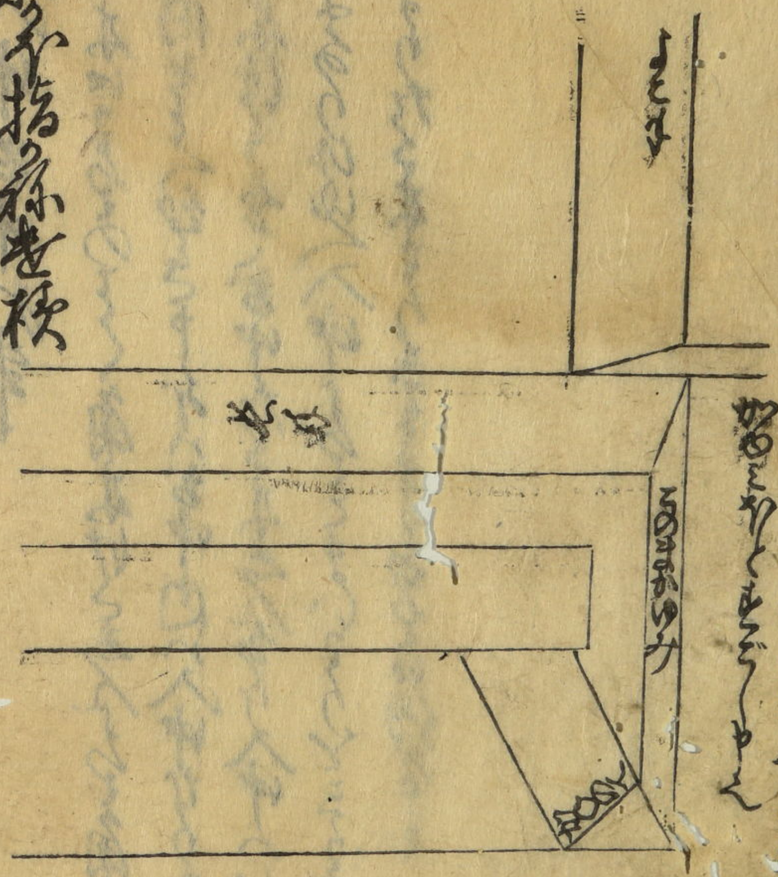
たる本かうぐのをそより角本せいあそり
う移のてにさーはけ角おちがうをしたい

又

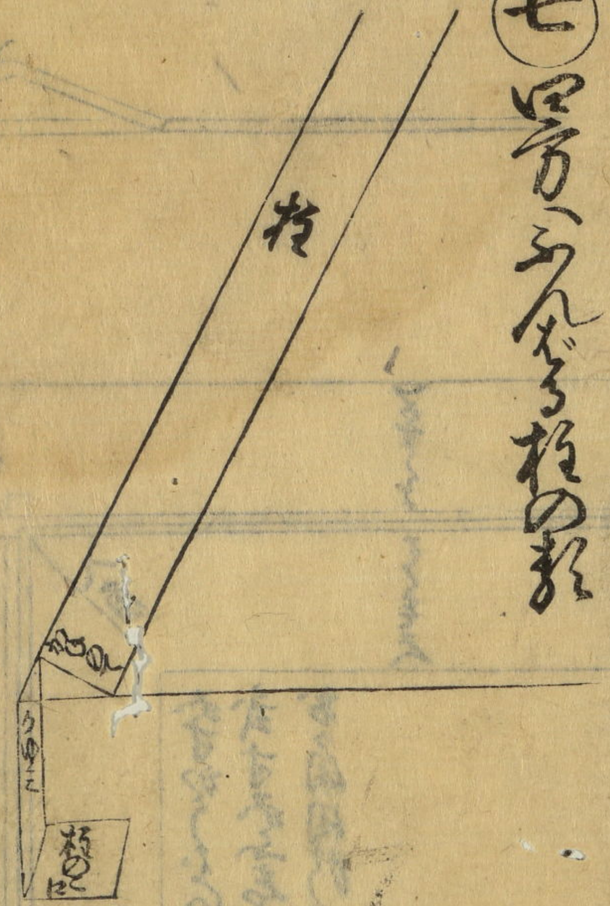
お中入中まで仕組


山もの先
ツナギ
ツナギ
ツナギ

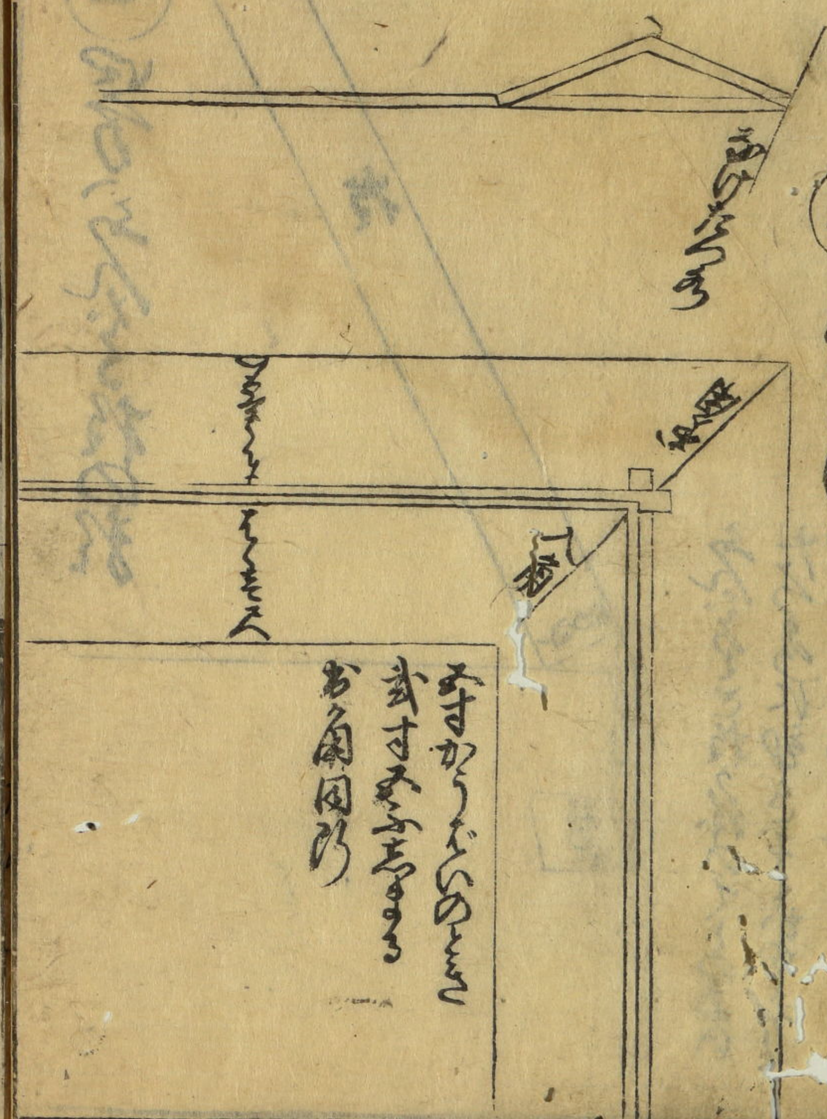
六



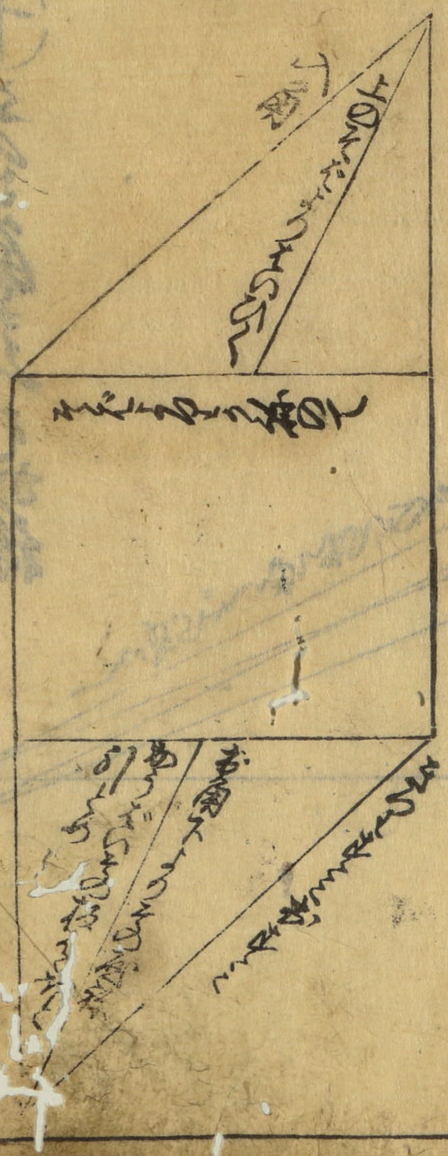
七



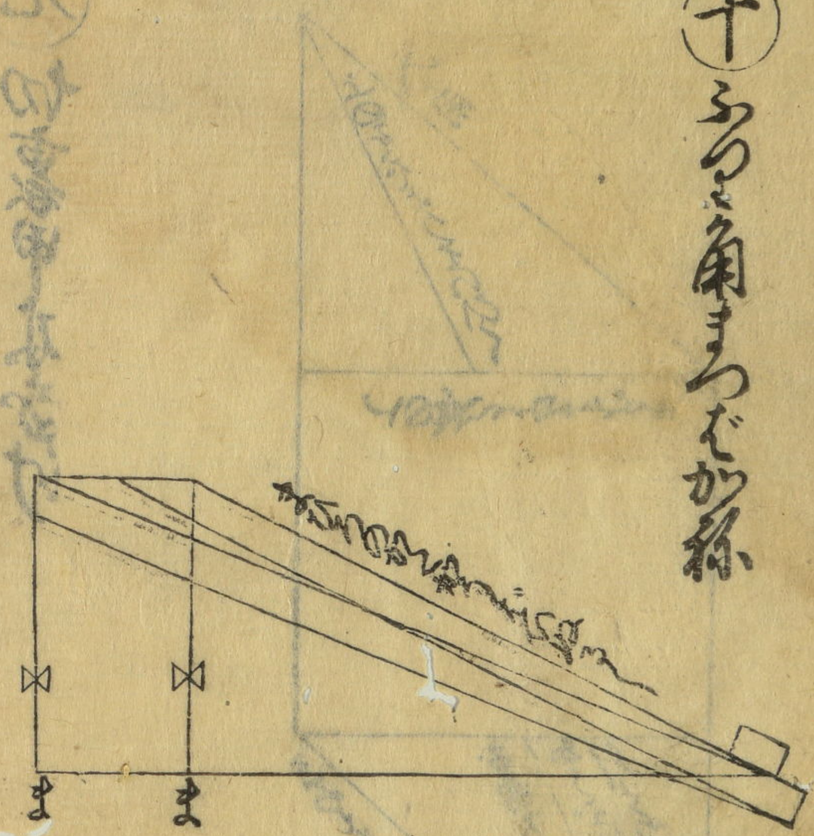
八

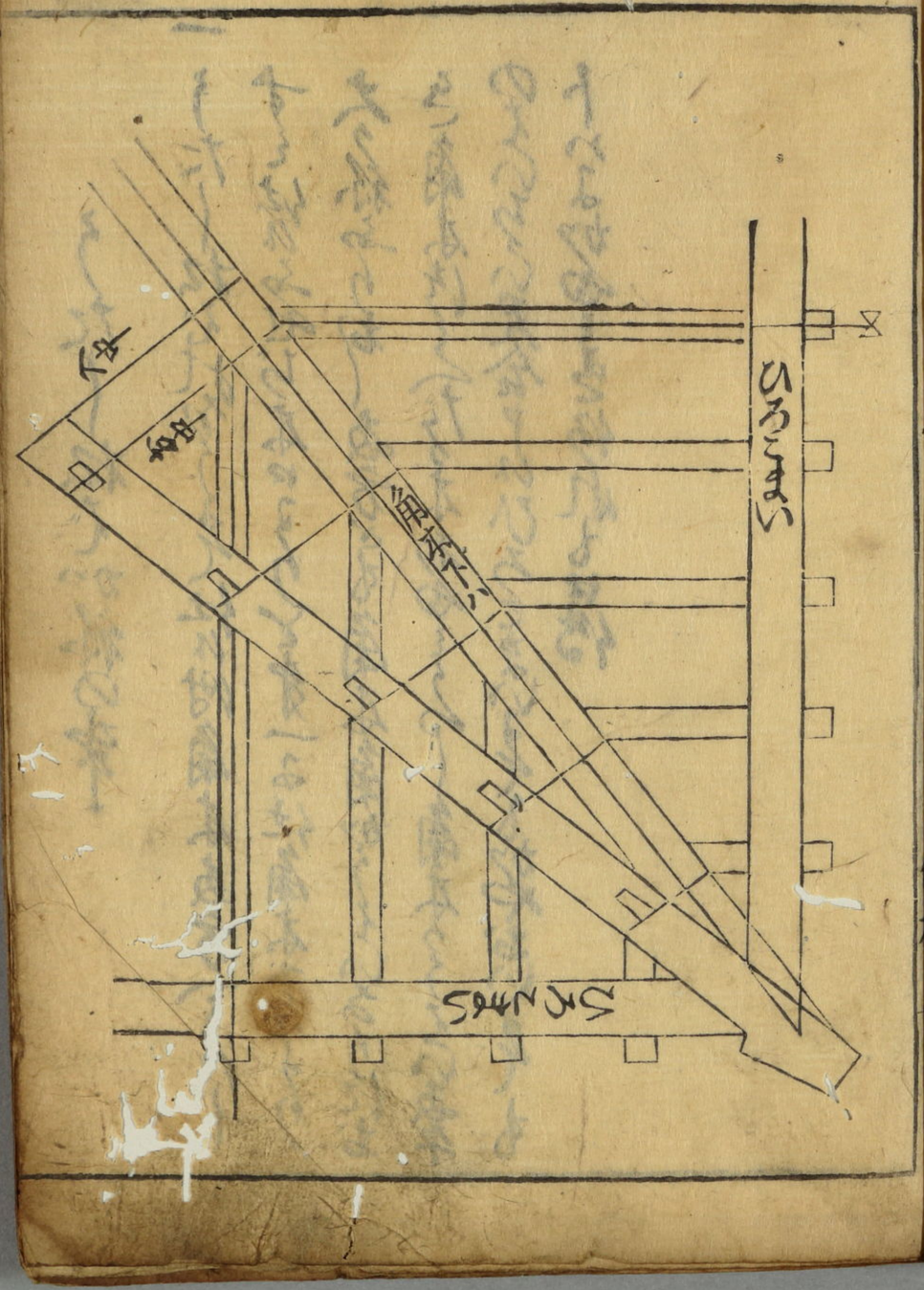


九



十 ろっ角まつだか糸

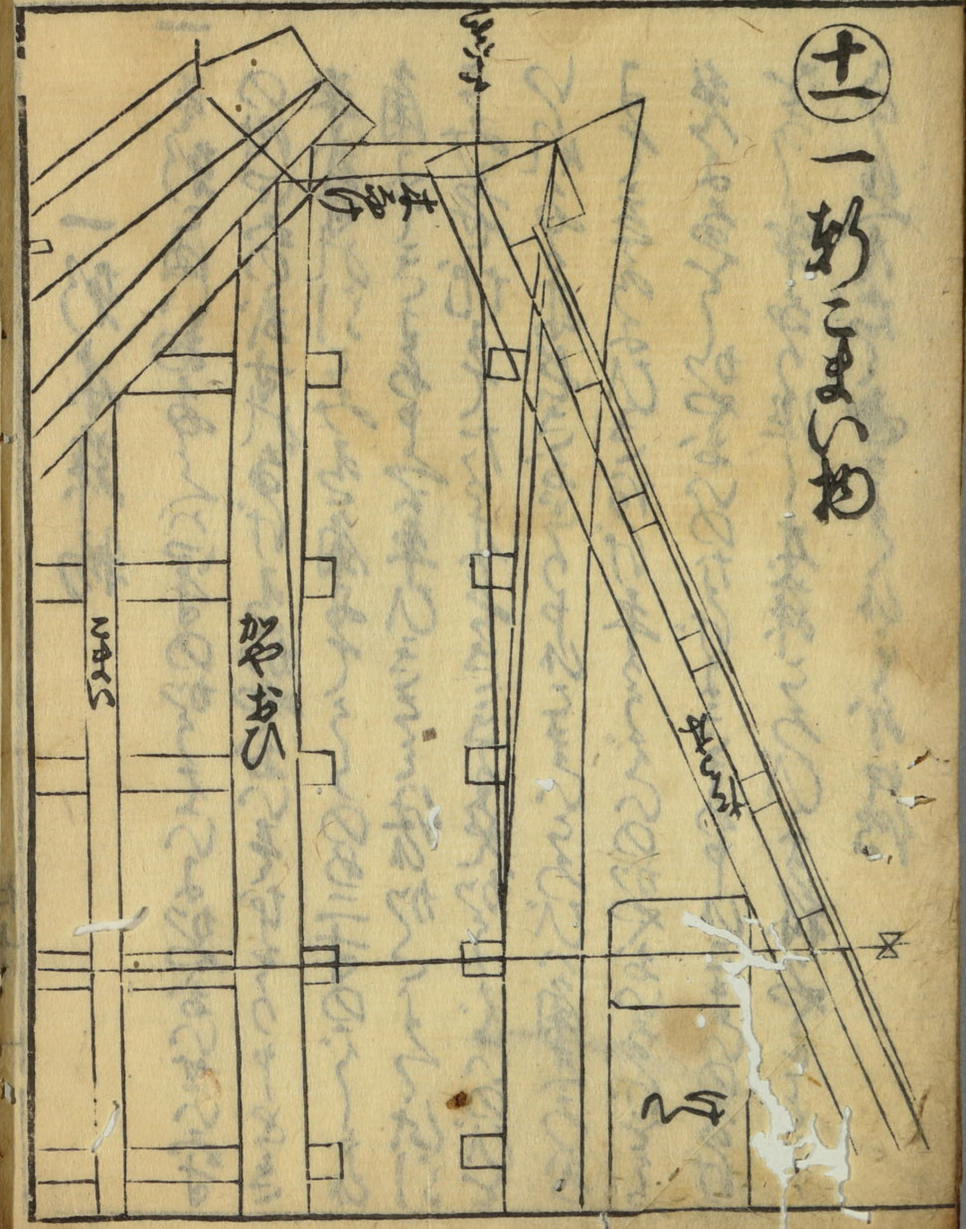


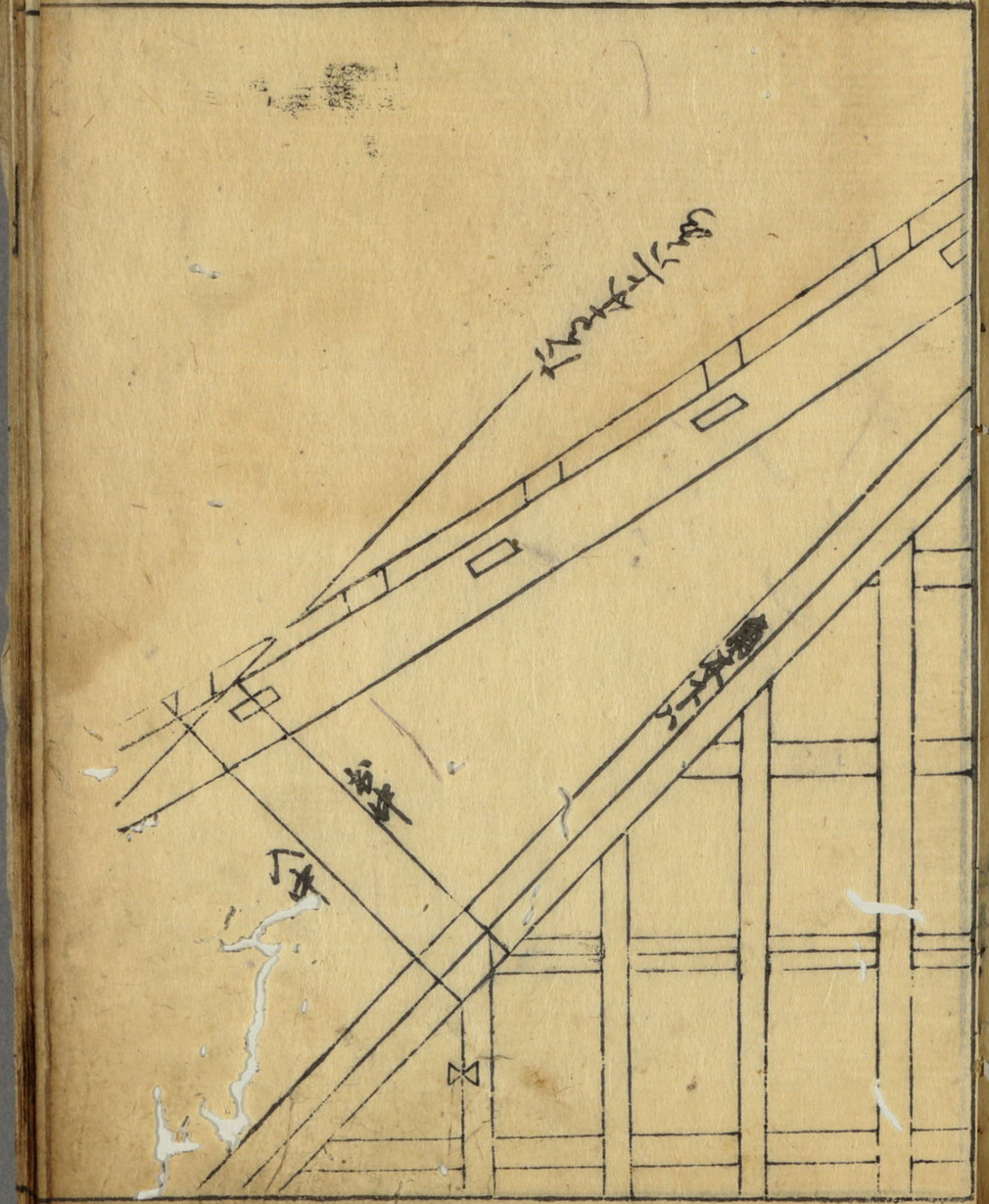


うたし松だい称の事

一うたし松だいそのすゑ仕附角本あるいは仕附角本ならびに大小称ありあるいは方さも角本角かうそいのうにおき角本ならびに角本ならびに角本ならびにたる本あるいはそのそいちいさ合中ひろこまいそもかやおいそもトいよか

十一 ちまめ





十二

角指の称呼

十二 そこのさこぐらやま

かやおいてハ

二ノ矢の事

一ふとき矢ぢかろにかけたる本のまま
本まみるためにこゝろもちの本長さみたるあり角
本長さわりたる中ほどうのまゝりさおい
うやおいの下とあさをさまそれ長さとり角本一うの
めよまのとし（中ほり
なりうちさいさおいかやおいの下にみたる本上にみつけさ
よくあたるこのゆて凡合すべし但あり

一かぶらやのすぢさやおいうやおいうさ同
うさなりかやおいの下に水みたるまあびあつけろ凡
こゝろけたる本中をまたるあびさおいにまた
そろへあるまあれ下の中をまりものさみうだの
まてたりけさおいにまりそれより角本かこ
おうう本おいそれ持ちおいの
下にあのところまてたる本上にまたる又角本かこのう
うのまさをあ小のさこのかうもいみまてしさ
なびやおいみ持ちあるに佐

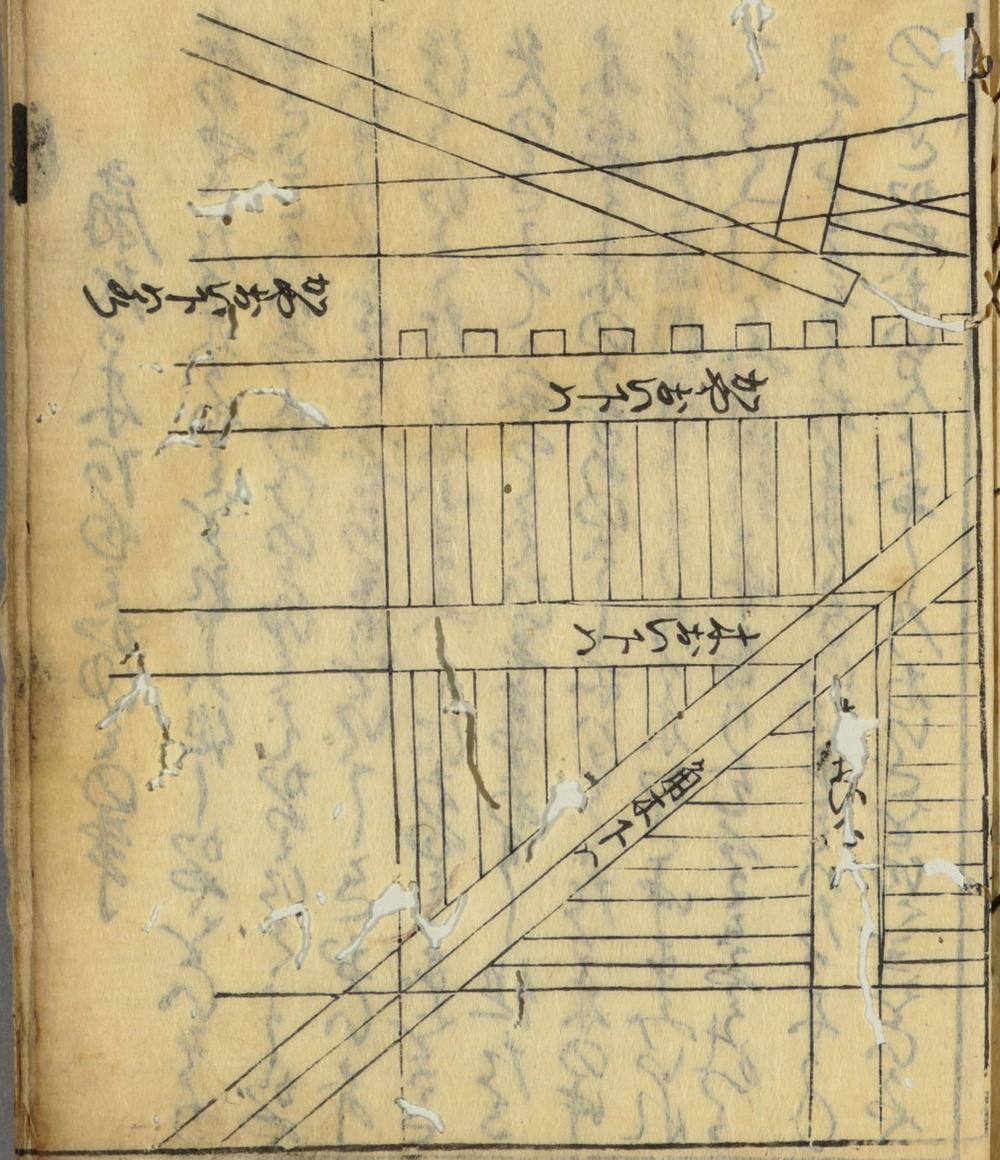
二朱角本造やうの事

一かやおいまうちもやきそりぞめ〳〵時ぐさまうとへは
そやおいそうりぞくます〳〵とをけやり候〳〵角本へ
さおいうやとうさいまたてぐりぬきさ
トいのさきをそうすさまおいまたてぐりぬきさ
さおいまたてぐりぬきさ
のやおいのをけがくまをとつくよかをさけり
つけやひのきけりこびぐりわまりとうびやまず
けそくひかまも候有べく

二朱ろくろ引の事

一ろくろのさきをまわしおよび合候ろくろ
うけたる木いを方さきをまわしおよび合
さきを方ともよ同〳〵さきをまわしおよび合
ろのさきをりはよりぬけまりぬけまり
なのすさきをこうさまわしおよび合候ろく

二町ふそぢ



扇たる木のもとかのもの事

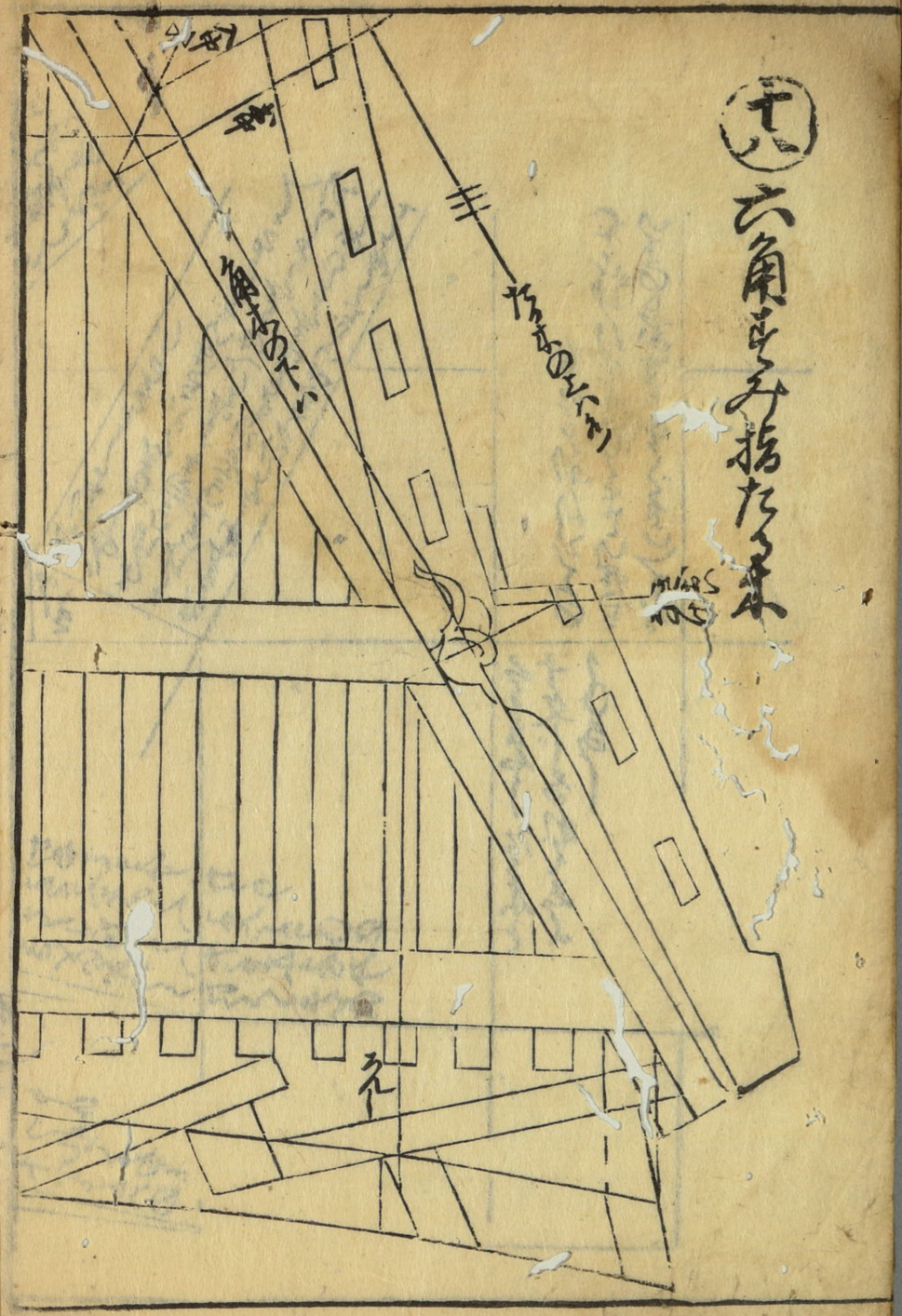
一右のかたる木のもとかのもの事

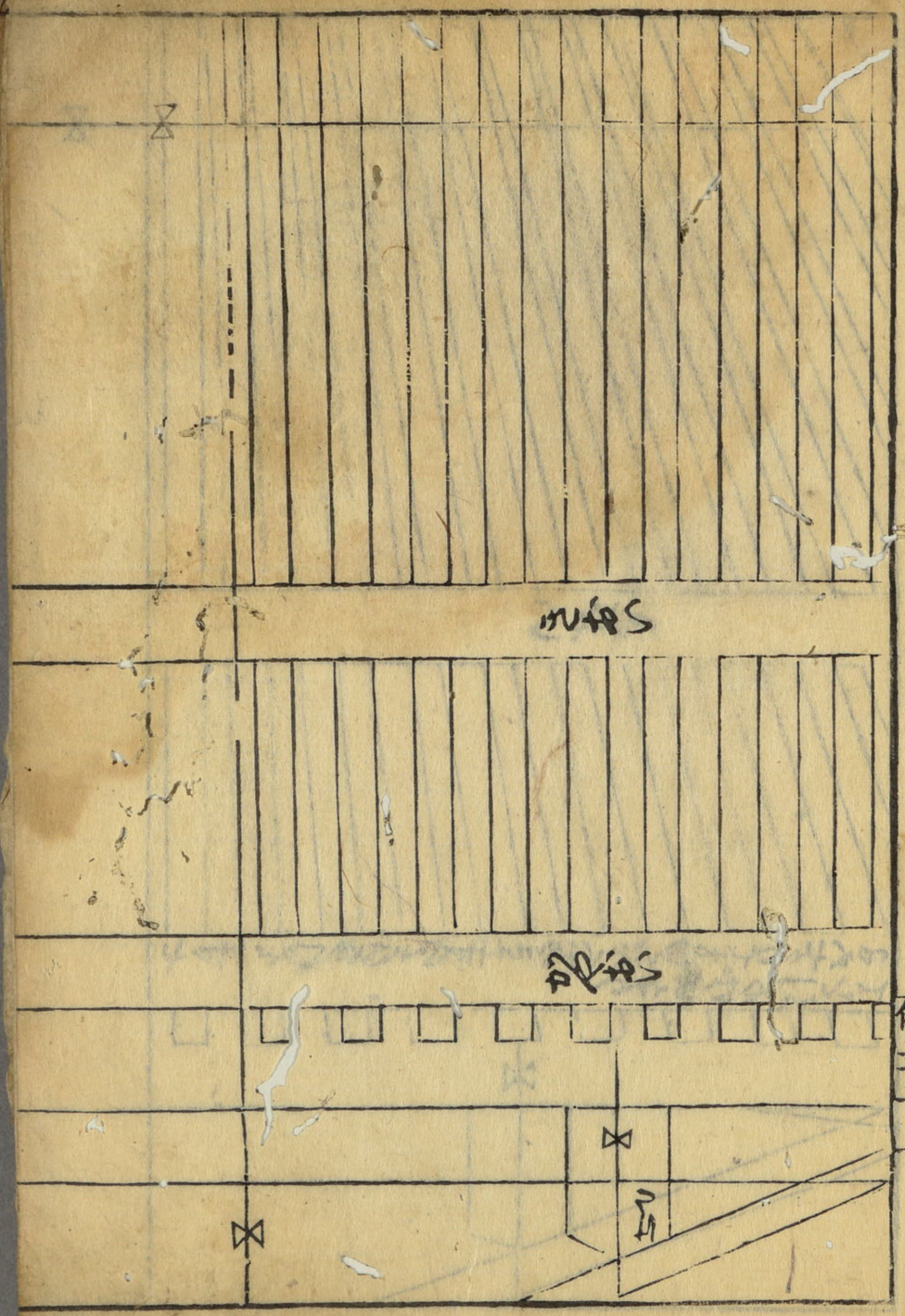
そりたる木のそひの屋すまりをつくりて
それくのそよかにまたくのやもまりあるそり
りたる木のそこのくれくそひとかけるなり仙
たそびそりれさおいやおいのあげをこのやそ
三面ひさのあとそひのかたりたるこれやく
びのあげのはうよかねにあるそびくに
それくにせさどあそのおくびとそれくに
あひんおくてきてこどりそりたる木の
りもみのさくらにあるゆくよかひのあこと
もにますあり仙
一大のさかのさ。文政六秋七秋七秋そも

本おいでこうさたる木のとそうかけ
たる木のおくらとそきうえおあこめ角木
一角木ぶつてそうでかたやおいかけそりあぎけ
木せいおれそれくかたやおいかけそりあぎけ
てさぐるでそうそるまてよさくみやん

十八

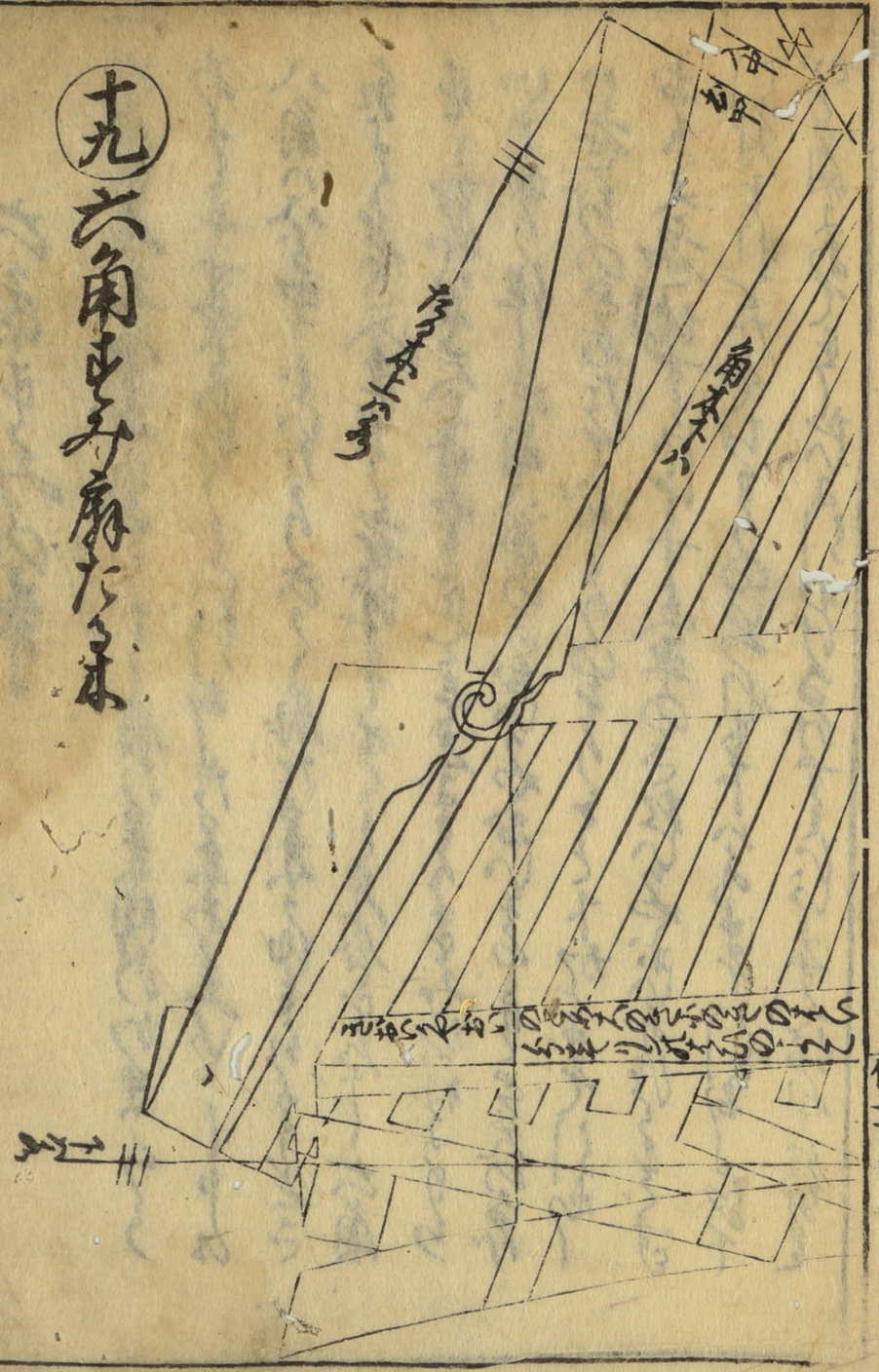
六角ネヂ捩たる棒



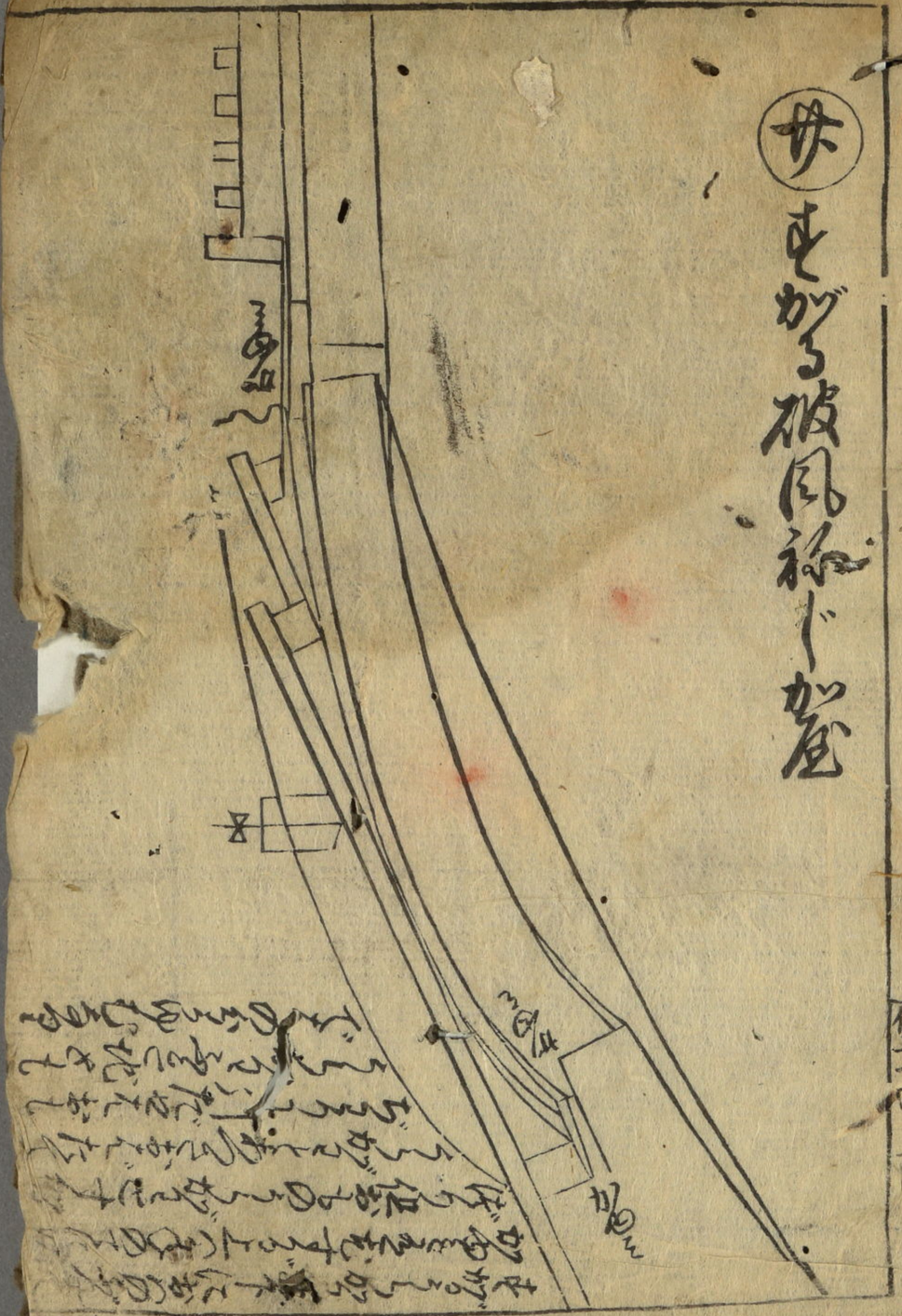


十九

六角七寸角木



六角をみの事

一六角をみは本たるまわるようにあるをよしとす
あるをすぼるのかうざいりおたる事あまいしゃ
八角八分かうざいなり六くく廣たる事あるをよし
ともに長さ八寸をよし廣ざは六寸をそくとも五寸
をそくとも五寸五分をそくとも六角いやおり作一六角八角のさおい
八番ごのあたそぎをとりのそおいやおいそぐまで
おさ廣ざの中すぢ三本のさおいやおいそぐまで
引分をれをたそぎをのいつれもとかるまでくり
かど角まわをとりおいやおいそぐまでに手くり

井をかる破風袴ごし笠